

# 利賀っ子だより



R4. 5. 11

## ○ 学習もしっかりと

小中合同運動会もいよいよ今週末となり、練習や準備も最終段階になってきました。しかし、運動会の練習準備と並行して、日々の学習にもしっかりと向き合っている利賀っ子たちです。



低学年は生活科「先生と仲よくなろう」の学習で手作り名刺をもって、校内の先生方に自己紹介をしたり、インタビューしたりしていました。2年生が手本を示し、その様子を見て、1年生も緊張した面持ちで先生方と交流をしていました。二つの学年が一緒に学習するよさが感じられました。

3年生は、国語科で国語辞典の使い方について学習していました。見出し語は五十音順に並んでいること、カタカナ、濁音、半濁音、長音、促音等がある語句

の場合の並び方にもきまりがあること等を実際に辞典を使いながら確かめていました。

タブレット端末や電子辞書は素早く意味を調べることができますが、子供たちの使っている国語辞典には辞書を引く過程で他の語句にも目が行ったり、理科学的なことや社会的な内容の例文が載せられていたりすると単なる意味調べだけに終わらない点が子供たちの語彙を豊かにするには有効だと思いました。



高学年は道徳科の時間に車座に座り、「人のために働くこと」について自分の考えを出し合っていました。「人のためになることは、楽しいこともある」「(他の人のためにすることは) やっていくうちに、習慣になる」「形にはならないご褒美がある」など、高学年としての自分の経験と重ねた話が次々と出ていました。張り切って学校生活を送っていることがうかがえました。

新しいクラスになって1か月と少し経ちましたが、自分の考えを飾ることなく自由に出し合っている姿と一緒に伸びていこうとする仲間意識も感じられ、頼もしく思いました。

(高田 公美)